

福岡大学・清永教授との共同開発にて誕生 1mのパットが90%※以上の確率で入る！

TRIPRINCIPLE パター発売

トライプリンシプル

ヨネックス株式会社（代表取締役社長：米山勉）は、福岡大学・清永明教授との共同開発にて誕生させた、1mのパットが90%以上の確率で入るパター「TRIPRINCIPLE（トライプリンシプル）パター」を2013年8月上旬に発売いたします。

ゴルフにおいて、スコアにとっても影響するのがパッティング。特に1mのパットを入れるか外すかによって、スコアは大きく左右していきます。このパターは、カップインに重要な物理の法則と人間工学を基に開発した、これまでのパターとは一線を画すアイテムとなっています。

ヘッドクラウン部には、目標線に対するガイドラインを配置。このガイドライン内でストロークすれば理論上1m以内はカップインする目安となります。またガイドライン効

果によってリラックスしたストロークが可能となり打ち損じが減少します。素材にはアルミニウムを採用し、ヘッド容積を拡大。中央部には半円柱の凹みを設けたことで重心位置が深くなり、単一素材のパターヘッドとしては最大級の慣性モーメントを実現しました。これによりピンタイプのパターに比べ2倍ものスイートエリアを確保するとともにインパクト時のフェースのブレを極力減少します。トップラインにはこのスイートエリアを示す3本のラインを設置したことでスイートエリアを意識しながら安心してストローク出来、安定した転がりが得られます。

※理論値であり、現実のゴルフ場でプレーする際のカップイン率を保証するものではありません。



↑ TRIPRINCIPLE（トライプリンシプル）パター

POINT 1

◆ストロークの目安となるガイドライン

スクエアにインパクトする場合、 5.61° 傾斜のガイドライン内であれば、たとえアウトサイドインにストロークしても理論上 1m 以内はカップインすることとなります。だから、リラックスしてストロークできるので打ち損じが減少します。

POINT 2

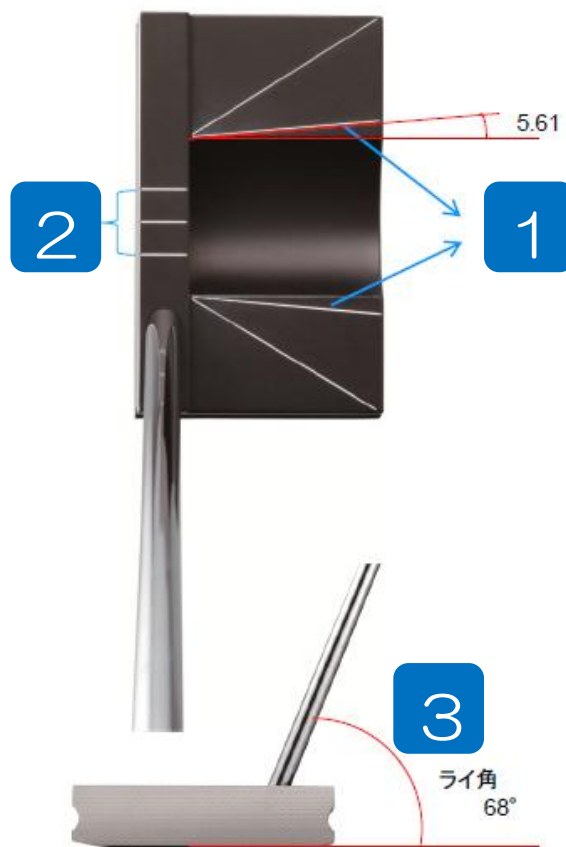
◆2倍のスイートスポット

3本ライン内はスイートスポット(快心)領域です。ピンタイプのパターに比べ2倍の広さを実現し、方向性を安定させます。

POINT 3

◆長くフラットな設計

ライ角は一般的パターよりフラットな 68° 、シャフトは長めの 36 インチ設計。日本人の平均的な体型に合わせ、自然に、気持ち良く構えられる設計のため安定したストロークをしやすくなります。



商品概要

商品名：TRIPRINCIPLE(トライプリンシプル)パター

素材・製法：ヘッド/A6000系アルミ合金(削り出し)

シャフト/パター専用スチールシャフト

グリップ/ツートンオリジナルラバーグリップ(YONEX ロゴ入り)

希望小売価格：オープン価格(ヘッドカバー付)

発売日：2013年8月上旬

原産国：日本

【スペック】

クラブ長さ(インチ)	36
ロフト角($^\circ$)	3
ライ角($^\circ$)	68
クラブ質量(g)	555前後

清永明教授プロフィール

清永 明（キヨナガ アキラ）

1949年8月19日生まれ。1978年、福岡大学医学部卒業。1984年に福岡大学医学研究科 病態生化学系循環生理化学博士修了。現在は、福岡大学医師・医学博士・スポーツ科学部の教授を務めるほか、同大学体育部会学友会ゴルフ部監督を務める。

主な戦歴は九州学生ゴルフ選手権大会3連覇。
